

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	699 防災行政無線維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本	15 自然災害等への十分な備えをする	目	20	防災費
		細目	153	防災対策経費
		細々目	60	防災行政無線維持管理経費
行革大綱の重点事項番号		7		
担当部署	コード	300100		担当者
	名称	総合危機管理室		氏名
				連絡先
				24 - 9640
				(内線) 2322

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市民、防災関係団体等	※対象件数
成果(どうする)	災害時に全市民に対して円滑な情報伝達を行う。	
根拠法令・要綱等	災害対策基本法、伊賀市防災行政無線の設置及び管理に関する条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	同報系及び移動系の防災行政無線保守点検 同報系防災行政無線の維持管理 移動系防災行政無線の維持管理	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			防災行政無線機器保守点検回数/年	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				防災行政無線機器保守点検実施率	%	目標 100 実績 100	目標 100 実績 100

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	22,555	23,668	29,398	28,945				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	22,555	23,668	29,398	28,945				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	26,155	27,268	32,998	32,545				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○	災害対策基本法の規程により、災害に関する予報若しくは警報の伝達は市町村長の責務とされている。
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業			
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業			
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○	
持続性	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
達成度	予算の繰越の有無 有	年度末に急遽防災無線の修繕が生じたため、特に改善策はない。	
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 繰越明許費		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	防災という目的上、費用対効果は求められない。	
効率性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
効率性	【事業名】 受益者負担を求められることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 防災行政無線(同報系及び移動系)の維持管理並びに定期保守点検を実施した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福本 敏彦
【方向性】	現状維持
【理由】	防災行政無線(同報系・水防系)とMCA無線の維持管理を継続して行う。
現時点における課題、その他	防災行政無線(同報系・水防系)について、落雷や原因不明の故障が時々発生する。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度中に、保守点検の強化等を委託業者に要請する。